

# スマート農業導入加速化事業 お試し導入 事例紹介

1 実施年度 令和元年度～令和2年度

2 導入機器 水田センサー 【商品名】 Paddy Watch

3 事業実施主体 県下の稲作経営体（経営規模が概ね10ha以上）  
 令和元年度：46 経営体 令和2年度：45 経営体



4 実績 令和2年度アンケートから(回答:40 経営体)

## ○ スマホアプリによる水位確認頻度

頻度	1日2回以上	1日1回	2～3日に1回	1週間に1回	ほとんど見なかった
経営体数	9件	9件	11件	9件	2件



- ・ ほぼ全ての経営体がアプリを利用、約7割が2～3日に1回以上の頻度で水位を確認。
- ・ アプリの初期設定後は、数回のタップで水温、水位が確認可能。操作は簡便であったと回答。

## ○ 水田センサー設置による水管理負担の変化

軽減度	経営体数
大幅に減った	8件
少し減った	12件
これまでと変わらない	17件
わからない	3件

- ・ 半数の経営体が「大幅に減った」、または、「少し減った」と回答。アプリで水位を確認、ほ場に行くのが給水時のみのため。
- ・ 半数が「これまでと変わらない」、または「わからない」と回答。周辺ほ場巡回時に一緒に見に行く、水位が分かっていても給水・止水のために行くため。

## ○ お試し導入後の購入予定

購入予定	経営体数
購入を検討	10件
購入しない	28件
わからない	2件

## ○ 普及させるための改善点

改善点	経営体数
本体価格を安くする	29件
通信料を安くする	21件
設置の手間を簡素化する	8件
自動給水栓の機能を付ける	23件
他の用途にも使える機能を付ける	3件

- ・ 多くの経営体からは本体価格や通信料を安くすること、自動給水機能の付与などが求められている。
- ・ 今後は、用水が制限され効率的な水管理が必要とされる地域やほ場が遠隔地に分散している経営体など、導入メリットが活かされる地域・経営体への普及をめざす。

5 お問い合わせ先

農政部農業技術課 農産振興係（スマート農業担当） 電話：026-235-7221（直通）